●ローカルOSCの確認

OSC電源は、12V REG出力をツェナーで7Vに落として使用 バリキャップ印加電圧を高くすると発振が停止するため、エミッター アース間に100Pのセラコンを追加した TS990スコープ画面でみると発振波形が汚いのが気になる 簡易SDRで確認すると50Hz → 電源ラインに50Hzのリップルは確認できない 発振コイルに鉄を近づけると相対的に50Hzが大きくなる → 磁界? トロイダルコアを比透磁率の小さい T37-#6 に変更 → 50Hz成分が約10dB減少

T37-#6 18T+18T

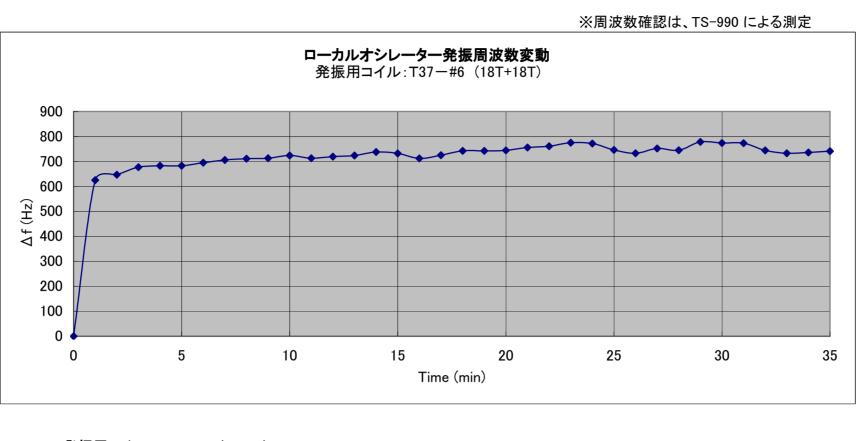
47PFセラミックコンデンサ(NP0)+32Pスチロールコンデンサ

22PFセラミックコンデンサ(NP0)

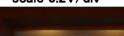
ΔF Frequency(Hz)

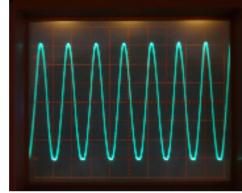
VCP 1T33(Sony)

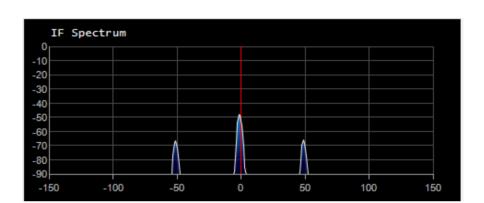
Time(min)



■発振用コイル:FT50-#61(4T+4T) scale 0.2V/div







■発振用コイル:T37-#6 (18T+18T)

